【基本目標4】 個性あふれる「ふるさと兵庫」をつくる

(1)地域活力の再生

地域活力の低下が懸念される多自然地域において、地域の主体的な取組を支援し、地域の再生を推進していくとともに、県民のふるさと意識の醸成、県内外からのふるさと兵庫づくりへの参画促進等により、本県における地域創生の推進力を高める。

【主要事業の概要及び KPI】

基本目標 4-(1)① 地域再生大作戦の展開による多自然地域の再生

(上段:目標、下段:実績)

総括KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
都市住民等外部から		38, 500人	77, 500人	119,000人	159, 500人	200,000人
の交流人口(累計)		(38,500人/年)	(39,000人/年)	(41,500人/年)	(40,500人/年)	(40,500人/年)
(地域再生大作戦取	19,600人	47, 700人				
組地区の交流人口)	(H26年度)					
達成率・評価		123. 9%				
连戍卒・計価		A				

【目標設定の考え方】地域再生大作戦取組地区の交流人口が平均400人/地区で、25%増の500人/地区に増加させることで交流 人口20万人(H31:500人×400地区)を目指し、H28年度目標を77,500人に設定

1 集落再生に対する支援(政策創生)10,405 千円(地域振興基金)

集落活動を維持・継続するため、地域内外の合意形成や地域活動の試行的取組を支援 〇アドバイザーの派遣

- ・派 遣 者 まちづくりコンサルタント、農業分野等の専門家など
- ・検討内容 集落が支え合うしくみづくり、将来構想づくり 等
- ○トライやる事業(集落等が行う地域活動の持続性を高めるための試行的取組)の支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		23地区/年	20地区/年	25地区/年	25地区/年	25地区/年
実施地区数	22地区/年 (H26)	22地区/年				
達成率・評価		95. 7%				
		В				

【目標設定の考え方】実績を踏まえ、取組意欲の高い地域再生活動に対し、モデル地区として毎年25地区程度(各年度の新規地区)を設定

2 広域的地域運営組織への支援(政策創生)10.442 千円(地域振興基金)

個々の集落が抱える広域的な課題に対応するため、周辺集落と連携した運営組織を設置し、 6次産業化の推進や広域的資源管理等にあたっての役割分担などの計画策定を支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
実施地区数		8地区/年	10 地区/年	10 地区/年	10 地区/年	10 地区/年
夫 旭地区数	_	8 地区/年				
達成率・評価		100.0%				
		A				

【目標設定の考え方】実績を踏まえ、取組意欲の高い集落連携活動に対し、モデル地区として毎年10地区を設定

3 地域おこし協力隊等起業化モデル支援(政策創生)8,489千円(地域振興基金)

生活交通、買い物支援、交流拠点の運営、ICT を活用した情報発信など集落活動サービ、スが利用できる地域づくりを進めるため、地域おこし協力隊等と協力して起業化する場合に支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
実施地区数		5 地区	10 地区	15 地区	20 地区	25 地区
(累計)	_	5 地区				
達成率・評価		100.0%				
		A				

【目標設定の考え方】地域おこし協力隊の起業化ニーズを踏まえ、モデル的に毎年5地区増加させ、H28年度目標を10地区に設定

4 「がんばる地域」交流・自立応援事業(政策創生)92,358 千円(地域振興基金)

地域の自立・継続的な取組を促すため、小規模集落、地域協議会(小学校区単位)等が自 主的に企画・提案する地域活性化に資する活動に必要な費用に対して助成

○助成対象

- ・地域が企画・提案する地域活性化に資する活動
- ・地域活動に必要な活動拠点の整備・改修
- ・拠点となる遊休施設を活用した稼ぐしくみづくりを構築するための計画策定、改修

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		25 地区/年	28 地区/年	28 地区/年	28 地区/年	28 地区/年
実施地区数	27 地区/年 (H26)	32 地区/年				
達成率・評価		128.0%				
		A				

【目標設定の考え方】実績を踏まえ、取組意欲の高い地域活性化活動に対し、モデル的に毎年28地区程度(各年度の新期地区)を設定

5 ふるさとにぎわい拠点整備(政策創生)9,899千円(地域振興基金)

合併市町の旧市町中心部におけるまちなかの賑わいを再生させるため、地域再生への効果が期待できるプロジェクトに対して支援

- ○プロジェクト実施計画の策定支援(初年度)
- ○施設整備やソフト事業等のプロジェクトの実施支援(2~4年目)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
実施地区数		1 地区/年	3地区/年	3地区/年	_	_
夫 旭地区数	_	1 地区/年				
達成率・評価		100.0%				
		A				

【目標設定の考え方】実績を踏まえ、取組意欲の高いまちの賑わい再生活動に対し、モデル的に毎年3地区程度を設定

6 田舎に帰ろうプロジェクト(政策創生)5,113千円

地域外から人を呼び込み定着させるため、UJIターン希望者に対し、地域が行う田舎暮らしのための知識・技能の習得研修、空き家情報の発信等を支援

○対象経費 都市部住民に対する相談窓口の設置、田舎暮らし習得研修等に要する経費

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
中华州区米		3地区/年	5 地区/年	5 地区/年	5 地区/年	5地区/年
実施地区数	_	3 地区/年				
達成率・評価		100.0%				
		A				

【目標設定の考え方】実績を踏まえ、取組意欲の高い移住・定住に向けた活動に対し、モデル的に毎年5地区を設定

7 エネルギー自立のむらづくり支援事業(企画県民) 25,393 千円

多自然地域の集落(概ね 50 世帯程度)において、大規模災害時にも電力自給が可能なエネルギー自立のむらづくりを進めるため、再生可能エネルギーによる非常用電源導入に係る経費を支援

○事業内容

- •非常用電源導入補助(補助限度額5,000千円、補助率1/2)
- ・非常用電源導入費用無利子貸付(貸付限度額50,000千円、貸付期間20年以内)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
「エネルキ゛ー自立の		12集落/年	15集落/年	20集落/年	25集落/年	25集落/年
むら」認定集落数	12集落/年 (H27)	12集落/年				
達成率・評価		100.0%				
		A				

【目標設定の考え方】集落の地域活動の取組ニーズの高まりを踏まえ、毎年目標を段階的に25地区まで増加

8 多自然地域アンテナショップ運営支援(政策創生) 76,022 千円

都市と農村の交流推進や多自然地域の移住情報の発信力を強化するため、多自然地域の豊かな自然が育んだ農産物や加工品等の都市部での販売・展示を支援

- ○事業内容 アンテナショップ店舗賃借料補助、アンテナショップへの出品支援
- ○支援期間 H28 年度から H30 年度

名 称	元町マルシェ	北播磨おいしんぼ館	西播磨ふるさと特産館
開設日	平成26年6月22日	平成24年4月1日	平成25年3月23日
商品の 仕入先	但馬、丹波、西播磨、淡路 等の集落等	北播磨地域の農産物直売 所、加工団体等	西播磨地域の集落等
面積	$35\mathrm{m}^2$	93 m²	90 m²
運営者	地域再生大作戦応援アンテナシ ョップ運営協議会	北播磨おいしんぼ館 運営協議会	ふるさと特産館 「好きやde 西播磨」 運営協議会

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
		205 千人/年	230 千人/年	235 千人/年	240 千人/年	245 千人/年
来客者数	202 千人/年 (H26)	229 千人/年				
達成率・評価		111.7%				
		A				

【目標設定の考え方】購買客数220千人(H31)を目指し、毎年5千人増加させH28年度目標を210千人に設定

【目標値見直しの理由】H27実績を踏まえ、毎年の上昇数はそのまま、H28以降の目標を上方修正

9 大学連携による地域力向上への支援(政策創生)2,794千円(地域振興基金)

大学の知的・人的リソースを活用した取組を促進するため、大学のゼミ等と多自然地域の 集落等が協働して行う地域力向上の取組に対し助成

○対象活動 地域の特産品開発、産品のブランド化、観光地発掘

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		13 団体/年	6 団体/年	_	_	_
実施団体数	7 団体/年 (H26)	13 団体/年				
達成率・評価		100.0%				
		A				

【目標設定の考え方】H29以降は改めて設定

10 ひょうご地域再生塾の開催(政策創生)744千円(地域振興基金)

地域のリーダー養成を目指し、多自然地域の地域づくりに関する研修を実施するとともに、地域リーダーの連携を促進

○講義内容 地域間交流や6次産業化による地域活性化 等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		20 人/年				
受講者数	20 人/年 (H26)	19 人/年				
達成率・評価		95.0%				
		В				

【目標設定の考え方】地域からの人材育成講座のニーズを踏まえ、毎年20人を育成

11 地域おこし協力隊等ネットワーク構築(政策創生)584千円

地域おこし協力隊等の活動を支援するとともにネットワークづくりを促進し、多自然地域の課題解決に向けたノウハウ・アイデアなどの情報交換を行う

○実施内容 まちづくり専門家等による講演、各地域の協力隊員による活動報告等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
地域おこし協力		50 人	50 人	50 人	50 人	50 人
隊員数	_	50 人				
達成率・評価		100.0%				
達成学・計価		A				

【目標設定の考え方】県内に在籍する地域おこし協力隊をH27実績並に維持する

12 (新)戦略的移住推進モデルへの支援(政策創生)10,312 千円(地域振興基金)

概ね小学校区域を対象に人口維持を図るため、若手移住者等を計画的に受け入れる戦略策 定や受入体制を整備するモデル地域を支援

○助成内容	区分		計画策定等	移住コーディネーター雇用		
	補	助	1年目 上限 2,000 千円	上限 3,000 千円/年		
	金	額	2.3 年目 上限 1,000 千円	補助期間 3 年		

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
実施地区数		_	2 地区/年	2 地区/年	3 地区/年	3地区/年
天旭地区 数	_	_				
達成率・評価		_				
建 风学。 計圖		_				

【目標設定の考え方】移住者の受入れに積極的な地域に対し、モデル的に毎年目標を2~3地区に設定

基本目標 4-(1)② 移住・定着の促進

総括KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
移住相談件数(累計)		200件	1, 400件	2,600件	3,800件	5,000件
(カムバックひょうご東京センターでの相談件数)	_	204件				
達成率・評価		102.0%				
		A				

【目標設定の考え方】相談件数 5,000 件 (H31) を目指し、毎年 1,200 件増加させ平成 28 年度目標を 1,400 件に設定

1 首都圏等での広報・移住相談の実施

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
市町との合同		_	4 回	4 回	4 回	4 回
移住相談会の 開催数 (累計)	_	_				
達成率・評価		_				
建成学・計価		_				

【目標設定の考え方】毎年4回開催を目標に設定

(1) (拡) カムバックひょうご東京センターの運営(政策創生) 25, 261千円

東京圏からのUJIターンを促進するため、「カムバックひょうご東京センター」を設置 平成28年度から新たに、移住希望者のお試し訪問の助成を実施

- ○設置場所 東京都千代田区大手町(「ひょうご出会いサポート東京センター」に併設)
- ○事業内容 東京圏からのUJIターンを促進する移住相談・広報活動

移住フェア・転職フェアへの出展、本県出身者の多い大学への訪問など

- ○移住促進策 移住希望者のお試し訪問にあたり、宿泊代を市町とともに助成
- (2) (新)マスメディアの活用による『ひょうご五国の地域創生』の広報展開(政策創生)20,154千円 他府県との差別化を図りつつ効果的な広報展開を図るため、マスメディアの発信力を活

用し、「ひょうご五国」の魅力を国内外に広く発信

- ○地域創生版ファムトリップ(テレビ・雑誌等マスメディアのロケ・取材誘致)
- ○首都圏等でのフリーペーパー・WEB広告の活用 等

2 (拡)空き家活用支援事業(まちづくり) 77,975 千円

住宅ストックの有効活用や地域の活性化を促進するため、一戸建ての空き家を、住宅、事業所又は地域交流拠点として活用するための改修費等を助成(H28年度から都市部(市街化区域)も対象に拡大)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
空き家活用件数		66 件	116 件	166 件	216 件	260 件
(累計)	32 件(H26)	71 件				
達成率・評価		107.6%				
建 八千 一 一		A				

【目標設定の考え方】毎年空き家活用50件増を目指し、H28年度目標を116件に設定

3 インスペクション普及支援事業(まちづくり) 3,600 千円

安全・安心で良質な中古住宅の流通を促進するため、インスペクション(建物状況調査) を実施する団体の普及・啓発活動を支援

- ○事業主体 公的な民間団体
- ○事業内容
 - ・インスペクションの実施(3,000 千円)
 - ・インスペクションの普及・啓発 (600 千円)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
インスペクションの実施に併せた既存住		12 件	26 件	42 件	60 件	80 件
宅売買瑕疵保険加入件数(累計)	_	4件				
達成率・評価		33. 3%				
建		D				

【目標設定の考え方】インスペクション実施件数のうち、既存住宅売買瑕疵保険に加入した割合を20%とすることを目指し、H28年度目標を26件(14%)に設定

【KPI 未達成の理由等】中古住宅市場におけるインスペクションへの需要が高まっていないため。H28 については普及方針を見直して実施する予定

4 (新)県営住宅を活用した若年者等の移住の促進(まちづくり)

県営住宅を移住・定住の受皿として活用するため、県外在住者の県営住宅への入居に係る 要件緩和等を実施

- 若年移住希望者(合計年齢80歳未満の夫婦)の入居要件(県内在住・在勤)の緩和
- 定住促進に向けた「お試し居住」(1~2年)の実施

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H37年度 (目標達成年度)
「若年移住希望者」 入居 ※1		-	27 戸/年	31 戸/年	35 戸/年	39 戸/年	63 戸/年 (累計 450 戸)
八百 次1	_	_					
達成率・評価		_					
建 八平 - 叶圃		_					
「お試し居住」実施 ※2		-	3戸/年	3戸/年	3戸/年	3戸/年	3戸/年 (累計 30戸)
* *2	_	_					
達成率・評価		-					
		_					

【目標設定の考え方】※1: H37年度までに「若年移住希望者」入居450戸(累計)を目指し、入居要件緩和の周知を図り ながら年々増加を図ることとし、H28年度目標を27戸に設定

※2: H37年度実施件数30戸(累計)を目指し、毎年3戸を目標に設定

5 (新) U J I ターン者に係る開発許可制度の弾力的運用(まちづくり)

UJIターン者が市街化調整区域に居住することを許可可能とする開発許可制度の弾力的 な運用

○対象:UJIターンする者のための住宅

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
開発許可制度の		基準改正	運用開始	_	_	_
弾力的な運用	_	基準改正				
達成率・評価		100.0%				
建 八半		A				

【目標設定の考え方】早期の効果発現に向け、H28年度の運用開始を目標に設定

6 二地域居住の受入体制の強化と楽農生活の推進

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H37年度 (目標達成年度)
楽農講座受講生 数(累計) ※1	_		20 人	40 人	60 人	80 人	
達成率・評価							
登録市民農園数		420 カ所	430 カ所	440 カ所	450 カ所	460 カ所	
(累計) ※2	400 カ所 (H26)	403 カ所					
達成率・評価		96. 0% B					
親子農業体験教室参加者数 ※3	444 人/年 (H26)	400 人/年 528 人/年	400 人/年	400 人/年	400 人/年	400 人/年	_
達成率・評価	(1120)	132. 0% A					_
楽農生活交流 人口 ※4	1,124万人/年 (H26)	1,100万人/年 H28.9公表	1,110万人/年	1,120万人/年	1,130万人/年	1,140万人/年	1,200万人/年
達成率・評価							_

【目標設定の考え方】 ※1:講座の受講人数の定員を踏まえ、目標受講生数を毎年20人に設定

※2: 実績を踏まえ、登録市民農園数を毎年10カ所増加させ、H28年度目標を430カ所に設定

※3:親子の農作業体験に対するニーズを踏まえ、毎年400人を対象に実施

※4: 県民の都市農村交流施設の利用回数を2回以上に増加させる目標値1,200万人/年(農林水産ビジョン 目標達成H37年度)を達成するため、毎年10万人増加させ、平成28年度目標を1,110万人/年に設定

(1) 田舎暮らし農園施設整備支援(農政環境) 12.895 千円

都市住民等が農園ライフを楽しむ機会を創出し、二地域居住の受入体制を充実させるため、農園利用施設整備や空き家・農業体験民宿改修を支援

○対象施設 農園利用施設:シャワー、トイレ、農機具庫 等 空き家・農業体験民宿改修:水回り整備、内外装、屋根等改修工事全般

(2) (新)但馬楽農講座の開設(農政環境) 2.272 千円

二地域居住等を促進するため、但馬地域での作物栽培技術や農山村での暮らしのノウハウ等を学ぶ「楽農講座」を開設

- ○対象者 但馬地域の二地域居住実践者、但馬地域居住の帰農者等
- ○実施内容 座学:作物栽培、田舎暮らしの講義 実習:作物栽培技術習得、加工実習

(3) ひょうご市民農園整備推進事業(農政環境) 74,046 千円

「楽農生活」の身近な実践の場となる市民農園の整備を推進

(4) 楽農交流事業 (農政環境) 1,300 千円

食や「農」の大切さが学べるよう、楽農生活センターのほ場で地元農家や楽農生活インストラクター等の指導のもと、親子を対象とした稲作体験教室(田植〜稲刈、試食)を実施

基本目標 4-(1)③ 兵庫へのふるさと意識の醸成、地域におけるふるさとづくりの推進

総括KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
住んでいる地域に誇りや 愛着を感じる人の割合		63. 8%	65. 0%	67. 0%	69. 0%	70%を 上回る
	63.8% (H27年度)	63. 8%				
達成率・評価		100.0%				_
達成学・計画		A				

【目標設定の考え方】過去最高(H26:65.6%)を上回る70%(H31)の達成を目指し、H28年度目標を65%に設定

1 体験教育の推進

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
環境体験事業、自然学		100%	100%	100%	100%	100%
校推進事業、地域に学 ぶ「トライやる・ウィ ーク」の実施校数※1	100% (H26)	100%				
達成率・評価		100.0%				
建		A				
今住んでいる地域の		全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	
行事に参加している	小学校(H26)	県 63.8%				
割合 ※2	県:65.0%、国:68.0%	国 66.9%				
達成率・評価		95.4%				
建 灰字 計圖		В				
今住んでいる地域の		全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	
行事に参加している	中学校(H26)	県 44.9%				
割合 ※2	県:44.0%、国:43.5%	国 44.8%				
達成率・評価		100.2%				
建 风宁· 計៕		А				

【目標設定の考え方】※1:引き続き各年度100%実施を目指す

※2: 各年度全国平均以上を目指す

※H31 年度の目標値は次期ひょうご教育創造プラン策定時に設定

(1) 環境体験事業(教育委員会)91,293千円

命の大切さ、命のつながりなどを実感させ、「生きる力」の育成を図るため、栽培・ 飼育等地域の自然と触れ合う体験型環境学習を実施

○対象 全ての公立小学校3年生

(2) 自然学校推進事業(教育委員会) 391,700 千円

心身ともに調和のとれた子どもの育成を図るため、豊かな自然の中で人や自然とふれ あう様々な活動を実施

○対象 全ての公立小学校5年生、実施日数4泊5日以上

(3) 地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」の実施(教育委員会) 190,222 千円

地域や自然の中で、主体性を尊重した体験活動を通じて「生きる力」を育成するため、 地域社会において1週間様々な社会体験活動を実施

○対象 全ての公立中学校2年生等

(4) 青少年芸術体験事業~わくわくオーケストラ教室~(教育委員会) 129,510 千円

芸術文化に親しむ体験活動の充実を図り、中学生の豊かな心を育成するため、県立芸術文化センター管弦楽団による青少年鑑賞公演を実施

○対象 全ての公立中学校1年生(私立・国立中学生も参加可能)

2 伝統文化教育の推進

(1) (新)伝統文化の学びの充実事業(教育委員会) 1,860 千円

自らの国や郷土の伝統文化について理解を深め、尊重する態度を身につけるため、教育課程の開発・実践、地域指導者との連携など、教育課程に位置付けた学習を充実

○対象 県内小中学校のうちモデル校

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
今住んでいる地域の		全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	
行事に参加している	小学校(H26)	県 63.8%				
割合 ※2	県:65.0%、国:68.0%	国 66.9%				
達成率・評価		95.4%				
连,从十		В				
今住んでいる地域の		全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	
行事に参加している	中学校(H26)	県 44.9%				
割合 ※2	県:44.0%、国:43.5%	国 44.8%				
達成率・評価		100.2%				
连,从十		A				

[【]目標設定の考え方】各年度全国平均以上を目指す ※H31 年度の目標値は次期ひょうご教育創造プラン策定時に設定

(2) 子ども伝統文化わくわく体験教室(企画県民)6,280千円(芸術文化振興基金)

生活に根付いた伝統文化を次代に継承するため、県域文化団体が講師を派遣し、学校 において子どもたちがいけばな・茶道・書道・邦楽・能楽等を体験する事業を支援

○対象 小・中・高

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
実施校数		30 校	45 校	45 校	60 校	60 校
夫	_	30 校				
達成率・評価		100.0%				
上次十		A				

[【]目標設定の考え方】実績を踏まえ、対象ジャンルを2年ごとに拡充し、実施校数を増加

(3) 伝統文化体験事業(企画県民)2.146千円(芸術文化振興基金)

県民の伝統文化に対する関心を高めるため、実演や体験コーナーを交えてその魅力を紹介する「伝統文化体験フェスティバル」のほか、体験教室や展覧会を実施

区分	①伝統文化体験フェスティバル	②伝統文化体験教室			
時 期	平成28年度内の土日(2日間)	通年			
場所	兵庫県公館	兵庫県公館 (和風会議室)			
対 象	児童、生徒	児童、生徒、親子連れ 等			
参加団体 ・県域文化団体(15 団体) (いけばな、書作家、吟詠、民俗芸能 等)					
(講師、演者)	・ゲスト(兵庫県水墨画協会、むかしる	あそび研究会 等)			

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		2,500 人	2,600 人	2,700 人	2,800 人	3,000 人
参加者数※1	2,442 人 (H26)	2,152人				
達成率・評価		86. 1%				
		С				
宝饰同类※ 9		10 回	11 回	12 回	13 回	15 回
実施回数※2	9回(H26)	10回(H27)				
達成率・評価		100.0%				
		A				

【目標設定の考え方】※1 実績を踏まえ、毎年100人ずつフェスティバルの参加者を増加

※2 実績を踏まえ、毎年1回ずつ教室の実施回数を増加

【KPI未達成の理由等】※1 会場である兵庫県公館全面工事の影響により来場者が減少。今後、一層のPRに努める

3 人権教育の推進

(1) 道徳教育推進事業(教育委員会) 23,640 千円

○兵庫版道徳教育副読本配布事業(17,100千円)

副読本を活用した道徳教育を推進するため、「道徳の時間」等での学びに加え、家庭においても活用できるよう、個人への配布を実施

- ・配布対象 小学校1・3・5年生、中学1年生の全児童生徒
- ·配布部数 19万32,000冊(4種類)
- ○道徳教育推進事業(6,540千円)

児童生徒の豊かな情操や規範意識、他者への思いやりなどの道徳性を育成するため、 兵庫版道徳教育副読本等を使用した道徳教育を全県的に推進

・道徳教育実践推進協議会の設置、実践研究事業及び実践研修の実施

KPI	目標設定の	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	起点(実績)	1127 中皮	1120千茂	1129十度	1130年度	1131千茂
兵庫版道徳教育副読本		94%	96%	98%	100%	
を活用した校内研修を 実施している学校の割 合(小・中)※1	93.6%(H26)	92. 3%				
■ 達成率・評価		98. 2%				
建成学・計価		В				
		小:5.2 時間	小:5.5 時間	小:5.7時間	小:6時間	
兵庫版道徳教育副読本 を活用した授業の年間	小:5.1 時間 (H26)	5.3時間				
授業時数 (小・中)		中:5.1 時間	中:5.4 時間	中:5.7時間	中:6時間	
※ 2	中 : 4. 4 時間 (H26)	4.7 時間				
		101.9%				
 達成率・評価		A				
建 八平		92. 2%				
		В				

【目標設定の考え方】

※1: 実施割合100%(H30)を目指し、H28年度は96%に設定

※2:小学校・中学校とも年間授業時数6時間(H30)を目指し、H28年度は小5.5h、中5.4hに設定

※1・2いずれも、H31年度の目標値は次期ひょうご教育創造プラン策定時に設定

(2) 地域に学ぶ人権学習推進事業(教育委員会)4.080千円

人権教育の一層の充実を図るため、参加体験型学習資料を効果的に活用した地域の取組 を促すとともに、地域にある豊かな学習素材を活用した実践研究を実施

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
希望市町に対する地域に学		15 市町	15 市町	15 市町	15 市町	15 市町
ぶ人権学習推進事業採択市 町数	15 市町 (H27)	15 市町				
達成率・評価		100.0%				
		A				

【目標設定の考え方】実績を踏まえ、15市町を維持

4 地域ぐるみの教育活動の展開

(1) 学校・家庭・地域の連携協力推進事業(教育委員会)159.073千円

地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていく活動(=「地域学校協働活動」)を積極的に推進するため、従来の個別の教育支援活動の充実、総合化・ネットワーク化を図り、「支援」から「連携・協働」を目指す新たな体制を構築

- ○市町による「地域学校協働本部」の全校区設置(7,310千円)
- ○市町による「地域学校協働活動」支援(89,423千円)
 - ・学校教育支援活動、地域住民による学習支援
 - ・放課後等の体験・交流活動、土曜日の教育活動等
- ○ICT 機器やプロジェクタ等の整備(49,000 千円)
- ○市町による地域コーディネーターの配置(11,840千円)
- ○県による地域コーディネーター研修等(1,500千円)

	KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	地域住民による学校地域連携		70%	80%	90%	100%	100%
	の仕組みを有する小・中学校 の割合 (政令市・中核市を除く)	66% (H26)	65%				
	達成率・評価		92.9%				
'			В				

【目標設定の考え方】平成30年度に全ての小中学校で仕組みができていることを目標に、各年度の目標を設定

(2) (拡)ひょうごがんばりタイム~放課後における補充学習等推進事業~(教育委員会)65,400千円 市町及び学校の学力向上に向けた取組を促進するため、放課後に地域人材と連携した 「ひょうごがんばりタイム」(補充学習)を実施(実施する公立小・中学校数を拡大)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
「全国学力・学		全教科 全国平均以上	全教科 全国平均以上	全教科 全国平均以上	全教科 全国平均以上	
習状況調査」における学力調査結果(小・中)	小・中学校計8科目中、 全国平均を上回る科目 2科目、同等の科目4科 目、下回る科目2科目 (H26)	小・中学校 計10科目中、 上回る:4 同等 :5 下回る:1				
達成率・評価		90.0%				
		В				

【目標設定の考え方】各年度全国平均以上を目標に設定 ※H31年度の目標値は次期ひょうご教育創造プラン策定時に設定

5 地域の一員としての自覚形成

(1) 高校生ふるさと貢献活動事業(教育委員会)29,400千円

地域社会の一員としての自覚と態度を育むため、3年間を通して生徒が意識を高め主体的に地域へ参画する活動を、学校全体の教育活動として実施

○対 象 全ての県立高等学校及び中等教育学校

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
高校生ふるさと貢献事業へ		96%	98%	100%	100%	100%
の県立高校生の参加割合	94% (H26)	97%				
達成率・評価		101.0%				
		A				

【目標設定の考え方】3カ年(H27~H29)での100%参加を目指し、H28年度は98%に設定

(2) 高校生就業体験事業~インターンシップ推進プラン~(教育委員会) 4,927 千円

社会人・職業人としての基礎的・基本的な資質・能力を育成するため、すべての生徒を対象に、職場や地域の企業等における就業体験を実施。

- ○事業所等におけるインターンシップ
- ○地域の職業人、キャリアアドバイザー等による進路講演会、職業ガイダンス等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
全県立高等学校における就職		100%	100%	100%	100%	100%
希望者の就業体験事業の実施	68.5%(H26)	81.3%				
達成率・評価		81.3%				
建汽车 計圖		С				

【目標設定の考え方】各年度 100%の実施を目指す

【KPI 未達成の理由等】生徒が希望する企業・業種と事業の対象となった企業・業種にギャップがあったため。生徒、学校の状況に応じて実施すべく、引き続き周知と理解を図る

6 ひょうごっこ・ふるさと塾事業(政策創生) 6.500 千円

青少年のふるさと意識を醸成するため、身近な地域での社会体験や豊かな自然に触れる体験又は交流を提供する取組を支援

- (1) 青少年活動型(県青少年団体連絡協議会に加盟する団体)
- (2) 地域一体型(一定の地域(小学校区程度)を基盤とする団体)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
r+7+1-*/-		100 件				
実施数	100 件(H26)	75 件				
達成率・評価		75.0%				
		С				

【目標設定の考え方】H26年度までの実績に基づき、各年度100件の実施を目標に設定

【KPI 未達成の理由等】青少年活動型と地域一体型に分けて募集しているが、地域一体型において周知が不十分で申請が少ない地域があるなど、地域毎の実施箇所数に偏りがあった。

今後、申請が少ない地域に重点を置いた実施団体の掘り起こしなど、地域における働きかけを強化する。

7 (新)ひょうごの遺産魅力発見事業(教育委員会) 777 千円

本県の歴史・文化の魅力発信に資する「日本遺産」の認定を増やすため、広域的な視点で調査研究を行うとともに、認定を目指す市町が行う連携協議会の運営、外部研究員による現地調査などを支援

- ○内容 「日本遺産」のストーリーづくりに必要となる、地域の歴史的経緯や歴史的魅力 について、学術的な指導や助言ができる研究員を派遣
- ○支援対象例 銀の馬車道(銀の馬車道ネットワーク協議会)、国生み神話(淡路島日本遺産委員会)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
市町の申請相談のべ件数		4件	8 件	12 件	16 件	20 件
[[] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] []	4件 (H27)	4件				
達成率・評価		100.0%				
		A				

【目標設定の考え方】H27年度の実績(4件)を毎年度の目標に設定

8 県立大学によるふるさとづくりへの参画促進

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
COC+事業等によるインター		4,105人/年	4,127人/年	4,139人/年	4,231人/年	4,248人/年
ンシップ参加者数	3,917 人/年 (H26)	3, 985 人				
達成率・評価		97.1%				
建 /双 车 。 計圖		В				

【目標設定の考え方】神戸大学、兵庫県立大学など主要大学の参加者数1割増加(H31年度)を目指し、H28年度目標を 4,127人に設定

(1) 地(知)の拠点整備事業(COC事業)の実施(企画県民)

県内大学が地元自治体(県及び11市町)と連携して、地域課題の解決に取り組むため、6つのプロジェクトを展開するとともに、これらプロジェクトフィールドを活用した地域志向型教育プログラムを導入

○事業名 ひょうご・地(知)の五国豊穣イニシアティブ

(2) 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+事業)の実施(企画県民)

地方創生に向け学卒者の地元定着等を促進するため、大学が自治体や企業等との連携のもと、地域志向型の新たな教育プログラムを開発し、多様な地域課題に応える実践力を備えた人材を育成

○事業名 地域創生に応える実践力養成ひょうご神戸プラットフォーム

(申請大学:神戸大学(県及び県立大等が事業協働機関として参画))

9 ふるさと兵庫"すごいすと"情報発信事業(政策創生)8,358千円

県民のふるさと意識の醸成を図るとともに、兵庫ファンを増やし移住を促すため、兵庫を 元気にしている「すごい人」や、地域住民の暮らしに根ざした「すごい所」などの情報を発信

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
紹介者数		62 人	78 人	90 人	100人	110人
和几有效	40 人(H26)	62 人				
達成率・評価		100.0%				
建		A				

【目標設定の考え方】4カ年で各月1人以上70人の紹介(H26:40人→H31:110人)を目指し、H28年度は延べ78人に設定

10 ふるさとづくり青年隊事業(政策創生)12,627 千円

将来の地域づくりの核となる人材を育成するため、地元青年と地域外の青年(公募)からなる「ふるさとづくり青年隊」と地域団体等の連携による、地域活性化や課題解決を支援

○活動実施団体への助成 ○アドバイザーの派遣・フォローアップ研修会・先進地視察の実施

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
参加青年数		100 人	100 人	100 人	100 人	100 人
参加育年数	100人 (H26)	188 人				
達成率・評価		188.0%				
建		A				

【目標設定の考え方】H26年度までの実績に基づき、各年度参加者数100人を目指す

11 ふるさとひょうご創生塾の開設(政策創生)7,229千円

地域づくり活動のリーダーを育成するため、活動実践に不可欠な知識・技能を学ぶ講座(2年制)を開設

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
/女 マ * * * * * * * * * * * * * * * * * *		543 人	561 人	591 人	621 人	651 人
修了者数	520 人 (H26)	541 人				
達成率・評価		99.6%				
建成学・計 伽		В				

【目標設定の考え方】実績を踏まえ、各年度約30人の修了を目指す

12 「ふるさとひょうご寄附金事業」(企画県民) 62,000 千円

県外からのふるさと兵庫づくりへの参画を促進するため、「ふるさとひょうご寄附金」について、実施事業の提案・アイデアから新たに9項目を事業化

- (1) ひょうご若者被災地応援プロジェクト~ボランティア活動を通じた若者人材育成~
- (2) 防災・減災応援プロジェクト~1.17 を忘れない~
- (3) 未来を担う県立大学生への応援団募集プロジェクト〜兵庫県立大学生の社会貢献や地域創生を応援〜
- (4) 県立学校環境充実応援プロジェクト
- (5) 児童養護施設や里親の下で育つ子ども応援プロジェクト~自立を目指す子どもたちの未来のために~
- (6) コミュニティカフェ開設応援プロジェクト~高齢者等の見守り拠点づくりへ~
- (7)「子ども食堂」応援プロジェクト ~貧困の子どもたちに温かいごはんを~
- (8) 子犬子猫の飼い主捜し応援プロジェクト~子犬子猫の小さな命を救うために~
- (9) コウノトリ野生復帰プロジェクト~「人と自然が共生するふるさと兵庫」づくり~

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
ふるさとひょうご寄附		190 件	200 件	220 件	240 件	260 件
金事業の寄附件数	189 件 (H26)	197 件				
達成率・評価		103.7%				
建 八平		A				

【目標設定の考え方】毎年度、寄附件数10%増を目指す。

13 首都圏の若手会員の拡大等による「東京県人会」の活性化に向けた取組(企画県民)

首都圏で活躍されている兵庫に縁のある方々の輪を広げ、兵庫を様々な角度から応援する 「兵庫県人会」の交流活動等を支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
東京県人会の新規入会		100 人	200 人	300 人	400 人	500 人
者数 (累計)	_	82 人				
達成率・評価		82.0%				
建以十		С				

【目標設定の考え方】各年度新規入会者数100人を目指す

【KPI 未達成の理由等】ホームページ、フェイスブックによる情報発信や、各種同窓会・同郷会での告知に加え、H28年度からは会員誌「ふるさとひょうご」による広報活動を拡充(※)することにより、さらなる会員確保に努めていく ※新規入会者を紹介した会員を同誌で紹介

14 (新) ふるさと創生推進事業(政策創生) 1,750,000 千円 (地域振興基金 100,000 千円、県予算 1,650,000 千円)

県民局・県民センターの地域創生戦略に基づく事業等を積極的に推進するため、県民局・ 県民センターに「ふるさと創生推進費」を配分し、地域の実情に応じた施策を機動的に展開

地域	事業概要
±± =	・神戸アグリツーリズム振興、 ・有馬川親水広場の魅力向上
神戸	・神戸繁昌亭(仮称)の設立支援 ほか
阳地中	・阪神南ゆかりの共通テーマによるリレー展覧会の開催、 ・ふれあいスポーツフェスタの開催
阪神南	・IWCと連携した日本酒振興イベントの開催 ほか
には・4中 イト	・「ひょうご北摂ライフ」アピール事業、 ・北摂里山博物館(地域まるごとミュージアム)の新展開
阪神北	・阪神アグリパーク構想の推進 ほか
古怪麻	・いなみ野ため池ミュージアムの新たな展開、 ・ものづくりの新展開と産業の活性化
東播磨	・ふるさとの魅力とにぎわいづくり ほか
小極麻	・攻めの農業の推進、 ・北播磨地域ふるさと魅力発信サポート事業の推進
北播磨	・東条川疏水ネットワーク博物館構想の展開 ほか
中播磨	・「銀の馬車道」プロジェクト、 ・ひめじ前どれ海の幸グレードup作戦
十 油 石	・中播磨の企業PR大作戦(U・I・Jターン対策) ほか
西播磨	・JR 姫新線開業 80 周年事業・利用促進活動の実施、 ・森林(もり)から創まる宍粟創生への支援
四油店	・西播磨暮らしの推進 ほか
但 馬	・夢但馬周遊ツーリズムの推進、・山陰海岸ジオパーク誘客総合対策の推進
旧 200	・たじま田舎暮らしの推進 ほか
丹波	・丹波地域恐竜化石フィールドミュージアムの展開、 ・丹波ブランド産物の生産振興・ブランド力の向上
/1 1/2	・たんば移住・環流プロジェクトの推進 ほか
淡路	・「鳴門の渦潮」の世界遺産登録に向けた取組 ・「国生みの島」推進事業(淡路学読本の活用等)
1次 ㎡	・都市住民の転入促進事業 ほか

※KPIは、各県民居が策定する地域別アクション・プランで設定